



国内データセンターアウトソーシング市場予測を発表 2011年市場規模は前年比6.8%増の1兆221億円 ～2012年は企業ITの災害対策強化のために需要は拡大～

- IT専門調査会社のIDC Japanは、データセンターアウトソーシング（顧客企業の情報システムのサーバをデータセンターで監視・運用するサービス）市場の最新予測を発表した。これによると2011年の国内データセンターアウトソーシングは、前年比6.8%増の1兆221億円となり、同市場は遂に1兆円市場になると、IDCでは予測している。

2011年の国内データセンターアウトソーシング市場における東日本大震災の影響は軽微なものにとどまっている。2010年までの同市場では、リーマンショック以降の景気低迷の影響によって、市場成長率が低下傾向にあった。しかし震災とそれに続いた電力供給不足の経験を踏まえて、多くの企業でITの災害対策強化に対する意識が高まっている。データセンターアウトソーシングはITの災害対策強化の有効な手段として再評価されつつあり、2012年には国内データセンターアウトソーシング市場の前年比成長率は12.4%に上昇するものと、IDCではみている。

また、クラウドサービスの利用拡大が、国内データセンターアウトソーシング市場の動向に大きな影響を与えることも今回の調査でわかった。データセンターアウトソーシングには、サーバ設置場所を貸し出す「コロケーション」と呼ばれるサービスと、データセンター事業者が所有するサーバを顧客に提供する「ホスティング」と呼ばれるサービスがあるが、クラウドサービスは、この

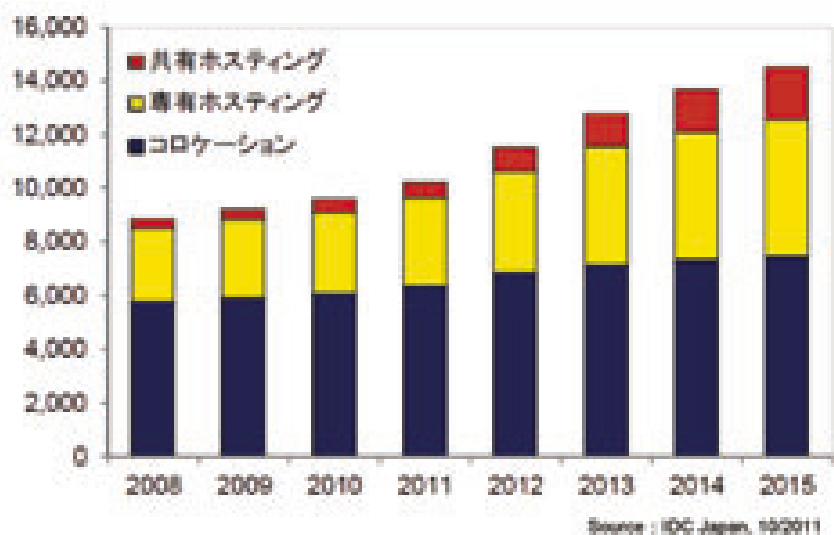


図 国内データセンターアウトソーシング市場 2008年～2015年 (億円)

うちの「ホスティング」に分類されるサービスに該当する。サービスの導入が容易で、利用コストの安価なクラウドサービスが普及することによって、コロケーションからホスティングへスイッチする企業が今後増加するものとみている。

国内市場では今後、景気回復やインターネット企業（ソーシャルアプリプロバイダーなど）によるホスティング利用の拡大を背景として、市場成長率が上昇に転じる。「大震災後の災害対策需要やクラウドサービス

需要の掘り起こし戦略を策定／実施することが、データセンターアウトソーシング事業者の重要課題であり、そのためには複数拠点のデータセンター間のシステム連携や、パートナー戦略の展開が重要となる」と、IDC Japan ITサービス リサーチマネージャーの伊藤未明氏は語っている。

●お問い合わせ先●

IDC Japan(株)セールス
TEL : 03-3556-4761
E-mail : jp-sales@idcjapan.co.jp
URL : http://www.idcjapan.co.jp/